

変形労働制ではなく、せんせいふやそう!

止めよう! 変形労働制 40

「止めよう! 変形労働制」ニュース No.40

全北海道教職員組合

2019. 12. 17

変形労働導入反対北海道緊急シンポジウム

たくさんの参加者とともに、「北海道に導入させない」との決意を確かめました

●約80名もの教職員、保護者、市民が参加

12月14日、道教組は、道高教組とともに、変形労働導入反対北海道緊急シンポジウムを行いました。過労死を考える家族の会の工藤祥子さんの講演、合同法律事務所の長野弁護士、北海道私教連の猪俣書記次長から特別報告がありました。

日程の関係で短時間の集会となりましたが、定員80名の会場いっぱいに参加者が集まり、これ以上過労死を生み出さない、変形労働制を北海道で導入させないために、ともに声を上げ行動し続けていくことの決意を確かめました。



●工藤祥子さん講演「みんなで考えるカラフルな教育」の思い

工藤祥子さんの講演「みんなで考えるカラフルな教育」について、「話はブラックですが、目的とするところはカラフル」と話し始めました。

「教師の仕事は、魅力があって、楽しくて、児童生徒のためにという魔法の言葉でどんどん仕事を増やしてしまうと言われますけれども、私は、過労死をした先生たちは、子どもたちのために仕事をしすぎたのが、亡くなった最大の原因とは思っていません。そうではなくて、子どもたちのためにと無限に増やされた仕事に忙殺されてしまったと考えています。」

「人は生きることを楽しむために働くのであって、死ぬために働くではありません。人生を豊かにするために生き生きと仕事ができるようにと、それが最大のメッセージです」

講演内容の詳細は、明日以降のニュースで、数回に分けて紹介していきます。



●「これ以上、過労死させない」「変形労働を導入させない」~ともに声を上げましょう

シンポジウムの最後に、変形労働制を北海道に導入させないための今後のとりくみについて、5つの行動を提起しました。当事者である私たち教職員がみんなで声を上げれば、状況は変わられます!

12月20日(金)には、宣伝行動を行います。札幌市中央区西3丁目札幌パルコ前で、17時からです。お近くの方は、ぜひ参加してください。

公立学校教員に

「1年単位の变形労働時間制」

を導入しないでください。



12・20PARCO 前宣伝行動

12/20(Fri) 17:00~17:30

中央区西3丁目札幌パルコ前

主催:全北海道教職員組合・北海道高等学校教職員組合連合会

#労働時間を变形させるな
No